

事業概要説明シート

事務事業番号 10601430009

事務事業名	議員調査・研修事務		類似事業グループ	22調査・研究
事業期間	1947(S22)年度 ~	担当部署	市議会事務局	
総合計画体系	(施策目標) 市民参加のまちづくりを進める			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市議会会議規則 枚方市議会議員に対する政務活動費の交付に関する条例 枚方市議会議員に対する政務活動費の交付に関する条例施行規則 枚方市議会図書室規程
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	個々の議員、常任委員会等が市に対して行う政策提言等への活用を図るため。
対象(誰・何を対象に)	議員(市民、市職員)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 常任委員会等が行う管内視察及び先進都市への視察を補佐する。 議員の求め等に応じて、先進都市等の事務事業について調査を行う。 市議会が主催する議員研修会の企画及び運営を行う。 他団体による議員向け研修会の案内及び参加手続を行う。 議員の調査、研究に必要な図書等を配置した議会図書室の運営を行う。なお、議会図書室は、議員の調査、研究に支障のない範囲で一般市民や市職員の利用に供している。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	住民の代表である議員からなる地方議会は、首長との二元代表制のもとで、行政執行機関を監視する一方、自らも積極的に政策提言等を行うことにより、地方自治の本旨の一つである住民自治の実現を目指すものである。こうした議会の監視機能、議員の政策提言能力等を強化するためには、その基礎となる本事務事業が必要不可欠である。

コ ス ト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	1.90人	15,200千円	1.65人	13,045千円	1.65人	13,098千円	
再任用職員		0千円		0千円		0千円	
非常勤職員等							
人件費計(A)		15,200千円	13,045千円	13,098千円			
直接経費(B)		2,282千円	2,581千円	4,700千円			
総事業費(A+B)		17,482千円	15,626千円	17,798千円			

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)			千円		千円		千円
その他			千円		千円		千円
一般財源	17,482千円	15,626千円	17,798千円				

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	委員会等活動費用弁償(2,280千円)	2,280千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10601430009

事務事業名	議員調査・研修事務	類似事業グループ	22調査・研究
事業開始年度	1947(S22)年度 ～	担当部署	市議会事務局

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 調査・研修回数	回	42	55	30
	② 蔵書数	冊	2,159	2,202	2,245
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/調査・研修回数	千円/回	416	284	593
	② 総事業費/蔵書数	千円/冊	8	7	7
	③				

目標とする成果(費用対効果含む)
先進都市の視察や先進都市の事務事業調査を通じ、個々の議員、常任委員会等が市に対して行う政策提言等への活用を図り、地方自治の本旨の一つである住民自治の実現を目指す。

成果目標達成状況	「議員が他市を調査、研修した回数」を成果目標として設定し、平成25年度の達成状況については、目標を30回としていたのに対し、実績が55回であった。	目標達成度	目標を上回る
-----------------	---	--------------	--------

比較参考値(他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)
本市では、海外視察について、全国市議会議長会主催の行政視察に限られるとして、平成25年度まで予算計上(900千円×1人分)をしていたが、平成26年4月に廃止している。
また、本市では、議会図書室に加え、議員が広く情報収集をすることができるスペースとして、調査資料室を設けているが、このような部屋を設置している市は、河北7市では例がなく、近隣市の中では先進的な取り組みを行っている。

事業のPR
本事業は、議会機能の最大化及び議員の資質向上を図る上で基礎部分にあたるものであり、その充実を図ることは、本会議や各常任委員会等における、より慎重かつ適正な議案審査や積極的な議論と政策提言など、活発な議会活動を生み出す原動力となっている。
また、地震等の災害発生時における議会及び議員の役割や行動について、府内でいち早く調査・研究に取り組んだ結果、平成25年4月に府内市議会初の具体的な災害時の対応内容を定めた機関を設置するに至った。
こうした取り組みについては、広報ひらかたに掲載するとともに、随時、ホームページ等を通じて市民への周知を行っている。

市民満足度
施策目標の「市民参加のまちづくりを進める」については、平成25年度施策評価に係るアンケート結果では、重要度・満足度ともに低い結果となっている。
しかしながら、早稲田大学マニフェスト研究所で実施されたアンケートに基づく「議会改革度調査ランキング2013」では、回答のあった全国1,444地方議会の中で15位(前年92位)にランキングされるなど、先進都市の視察や先進都市の事務事業調査内容が一定評価されているものと考えられる。

特記事項
「コスト」欄の平成25年度決算から平成26年度当初予算にかけて、直接経費が増額しているのは、予算を作成する際に4常任委員会で34人分、その他委員会で10人分を、議員1人につき100千円計上しているためである。毎年度、先進都市の視察先が、予算編成時には分からないこともあり、決算時に予算額との開きが生じることがある。しかしながら、「比較参考値」欄にも記載しているとおり、海外視察を平成26年4月から廃止しているため、予算額は前年度予算額と比べ、900千円減額している。

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	拡充・重点化	今後も調査・研修を適切かつ効果的に行う。また、議会図書室の運営については、平成26年4月に施行された「枚方市議会基本条例」の規定の趣旨に沿って、資料等の充実に努める。
---	--------	---

一次評価結果
・支障のない範囲の図書館開放など、開かれた議会を解り易くアピール。

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針		
---	--	--